

### 授業展開例 1 「『子どもの権利条約』にふれよう！－川柳・カルタづくりをとおして」

#### 1. 概要・目的

「子どもの権利条約」の権利(条文)の内容を川柳・カルタとして表現することで、条約についての興味・関心を高める。

#### 2. 進め方

- (1) 表現方法(川柳かカルタか)の選択と、グループづくり(同方法ごとに4～5人)及び取組の説明。
- (2) 「子どもの権利条約」抄訳をもとにした表現内容の検討と、作品の制作。
- (3) 発表・掲示等。
- (4) 感想交流及びまとめ。

#### 3. 主な留意点

- (1) カルタの制作にあたっては、50音をグループごとに分担するなど、工夫したい。
- (2) 表現内容については、権利(条文)の内容に固執せずに、子どもたちの思いや人権学習の成果等をふまえ、子どもたちからのメッセージとして位置づけても良い。

### 授業展開例 2 「つくろう！わたしたちの『子どもの権利条約』－色紙づくりをとおして」

#### 1. 概要・目的

「子どもの権利条約」の権利(条文)の内容を色紙として表現することで、条約についての興味・関心を高める。

#### 2. 進め方

- (1) グループづくり(4～5人)と、取組の説明。
- (2) 表現したい権利(条文)の選択と、表現内容の検討及び作品の制作。
- (3) 発表・掲示等。
- (4) 感想交流及びまとめ。

#### 3. 主な留意点

- (1) 文字や絵等、多様な方法を用いて表現させたい。
- (2) 表現内容については、権利(条文)の内容に固執することなく、子どもたちの思いや人権学習の成果等をふまえ、子どもたちからのメッセージとして位置づけても良い。

### 授業展開例 3 「『子どもの権利条約』を広げたい！－オリジナルバッジづくりをとおして」

#### 1. 概要・目的

「子どもの権利条約」の権利(条文)の内容をバッジとして表現することで、条約についての興味・関心を高める。また、バッジを活用した広報に取り組むことで、権利の主体者としての行動力を高める。

#### 2. 進め方

- (1) グループづくり(4～5人)と、取組の説明。
- (2) 表現したい権利(条文)の選択と、表現内容の検討。
- (3) 選択・表現の理由や広報のポイント等についての話し合い。
- (4) 作品の制作。
- (5) 広報。
- (6) 感想交流及びまとめ。

#### 3. 主な留意点

- (1) 文字や絵等、多様な方法を用いて表現させたい。
- (2) 表現内容については、権利(条文)の内容に固執せずに、子どもたちの思いや人権学習の成果等をふまえ、子どもたちからのメッセージとして位置づけても良い。
- (3) 制作にあたっては、保護者や地域住民等との連携を図りたい。
- (4) 広報する対象者については、広範さよりも、友だちや保護者等、日々の子どもたちの人間関係づくりに係わる存在を重視したい。その点からも、選択・表現の理由や広報のポイント等についての話し合いでは、丁寧に指導を進めたい。